

2022年度会務報告

第47回大会の概要

日本カント協会第47回学会は、2022年11月12日(土)にオンライン(Zoom 使用)にて開催された。104名の参加者を得て、盛会であった。プログラムは以下のとおりである。前回は引き続き今回も COVID-19の影響でオンライン開催となった都合で、第43回学会より開始された昼食時の研究交流会を実施しなかった。また、ポスター発表は募集しなかった。

なお、第47回学会は、東北大学における開催が計画されていたところ、COVID-19の影響によってその実施が不可能になった。同大学における開催をご準備くださった城戸淳会員に、記して御礼申し上げる。

0. 9:00-9:30 当日司会・発表者のリハーサル(各ルームにて)

I. 9:30-13:10 一般研究発表(ルーム A・B)

ルーム A 司会: 石田京子(発表①・②)、御子柴善之(発表③・④)

- ① 9:30-9:35 参加方法の説明(事務局より)
- ① 9:35-10:25 澤田義文『『人倫の形而上学の基礎づけ』第1章における善い意志と性格』
- ② 10:30-11:20 中村涼『『実践理性批判』『純粹実践理性の分析論』の構成』
- ③ 11:25-12:15 檜垣良成「カントと誤りえない良心」
- ④ 12:20-13:10 ライナ・シュルツァ「Eine gewisse Tücke des menschlichen Herzens: Kant über innere Wahrhaftigkeit」

ルーム B 司会: 菅沢龍文(発表①)、千葉清史(発表②・③)

- ① 10:25-10:30 参加方法の説明(事務局より)
- ① 10:30-11:20 井上慶太郎「判断力の導出について」
- ② 11:25-12:15 美上駿「超越論的運動に基づいた原因性解釈」
- ③ 12:20-13:10 山本舜「新カント学派と数学」

II. 13:30-14:40 総会(ルーム A)

III. 14:45-16:15 共同討議 1・2(ルーム A・B)

ルーム A 共同討議 1「『カテゴリーの超越論的演繹(第二版)』を読み直す」

提題者: 近堂秀「純粹悟性概念の超越論的演繹という問題—現代哲学からカントへ—」

村井忠康「B 演繹における判断と直観」

司会者: 中野裕考

ルーム B 共同討議 2「カントをどう教えるか?—初学者向け哲学講義をデザインする」

提題者: 伊藤貴雄「対話的リベラルアーツの試み—「啓蒙とは何か」を教材として」

上杉敬子「カントと学ぶ技術者倫理」

嶋崎太一「高校教育におけるカント」から初学者向け哲学講義を考える」

平出喜代恵「専門教育としてカントをどう教えるか—『基礎づけ』演習における試み」

司会者：寺田俊郎

IV. 16:20-19:20 シンポジウム (ルーム A)

「カント『人間学』の世界——開講250年を記念して」

提題者：杉山卓史「ヘルダーの『言語起源論』からカントの人間学講義へ」

船木祝「カントの人間学講義における「性格」概念を巡る思想発展」

王寺賢太「人間学という分岐点 フーコーによるカント『人間学』解釈」

司会者：浜野喬士

会員異動(2023年3月31日現在)

入会者7名、退会者5名(うち逝去者3名)、会員総数282名(うち、会員資格停止者62名)なお、2021年度の会務報告において、会員総数は282名だった。

委員会

2022年度中には、委員会が4回開催された。

日本カント協会 2021年度収支決算報告(2020年11月1日～2022年3月31日)

2022年度より会計年度を4月1日から翌年3月31日に変更するため、2021年度は移行措置として会計年度を2020年11月1日から2022年3月31日とした。前号の『日本カント研究』では中間報告が行われたが、本会務報告では総会での審議・承認された収支決算報告を掲載する。

なお、前号では第47回大会における総会において、2023年度予算が審議・承認される予定であると告知したが、第4回委員会において2022年度の収支決算前に予算を審議することは困難であるとの認識に達し、総会では参考資料として提示されるに留まった。そのため本会務報告においても、次々項において「参考」として掲載する。

【収入の部】	単位：円
会費収入(大会)	0
会費収入(郵便振替)	1,132,000
雑収入(預金利子)	34
小計(A)	1,132,034
学会補助金	190,000
学会時収入(機関誌・パンフレット販売)	0
学会時収入(懇親会・交流会費)	0
雑収入(寄付・直接受付)	30,000
雑収入(寄付・郵便振替等)	0
小計(B)	220,000
前年度繰越金	4,431,056
収入合計	5,783,090

【支出の部】	単位：円
大会開催費	76,040
外部スピーカー招聘費	60,000
事務局員給与	440,000
ホームページ維持管理費	40,740
通信費	65,274
会議費	0
機関誌発行費	167,200
印刷・コピー代	0
雑費	1,026
事務局移管費	13,510
文房具代	7,101
予備費	0
小計(C)	870,891
次年度繰越金 ^注	4,912,199
支出合計	5,783,090

日本カント協会 2022年度予算(2022年4月1日～2023年3月31日)

【収入の部】	単位：円
会費収入(大会)	0
会費収入(郵便振替)	1,100,000
雑収入(預金利子)	30
小計(A)	1,100,030
学会補助金	0
学会時収入(機関誌・パンフレット販売)	0
学会時収入(懇親会・交流会費)	0
雑収入(寄付・直接受付)	0
雑収入(寄付・郵便振替等)	0
小計(B)	0
前年度繰越金	4,912,199
収入合計	6,012,229

【支出の部】	単位：円
大会開催費	150,000
外部スピーカー招聘費	30,000
事務局員給与	320,000
ホームページ維持管理費	41,000
通信費	100,000
会議費	50,000
機関誌発行費	220,000
印刷・コピー代	55,000
雑費	30,000
事務局移管費	20,000
文房具代	20,000
予備費	100,000
小計(C)	1,136,000
次年度繰越金 ^注	4,906,259
支出合計	6,042,259

(参考)日本カント協会 2023年度予算方針(2023年4月1日～2024年3月31日)

【収入の部】	単位：円
会費収入(大会)	0
会費収入(郵便振替)	1,100,000
雑収入(預金利子)	30
小計(A)	1,100,030
学会補助金	0
学会時収入(機関誌・パンフレット販売)	0
学会時収入(懇親会・交流会費)	0
雑収入(寄付・直接受付)	0
雑収入(寄付・郵便振替等)	0
小計(B)	0
前年度繰越金	4,942,229
収入合計	6,042,259

【支出の部】	単位：円
大会開催費	150,000
外部スピーカー招聘費	30,000
事務局員給与	320,000
ホームページ維持管理費	45,000
通信費	100,000
会議費	150,000
機関誌発行費	170,000
印刷・コピー代	55,000
雑費	30,000
事務局移管費	0
文房具代	20,000
予備費	0
小計(C)	1,070,000
次年度繰越金 ^注	4,942,229
支出合計	6,012,229

注：前年度繰越金には、2019年度にカントの永遠平和論研究に役立ててもらいたいとの意向でいただいた寄付金(3,429,508円)が含まれている。

濱田賞について

本年度は濱田賞論文部門、著書部門ともに該当者がなかった。

編集委員の交代

第47回学会の総会において、編集委員長から編集委員の交代について報告された。退任される同委員と新任の同委員は次のとおりである。

退任：小野原雅夫氏(編集委員長)、斎藤拓也氏、浜野喬士氏、保呂篤彦氏、宮村悠介氏、村井忠康氏

新任：山根雄一郎氏(副編集委員長)、勝西良典氏、菅沢龍文氏、田中綾乃氏、松本大理氏、山蔦真之氏

これまでは正副編集委員長を除き、3人が交代する年度と5人が交代する年度があったが、今後は4人ずつ交代になるよう、菅沢委員の任期を1年とする。

機関誌の発行について

『日本カント研究』第23号がオンライン・ジャーナルとして2022年9月に発行された。

次回大会開催

第48回大会は群馬大学で、対面・オンラインのハイブリッド形式で2023年11月11日(土)に開催

される予定である。

以上
(2023年3月 日本カント協会事務局 記)